

報道関係各位

2024年1月24日
株式会社 eve autonomy

NTT 東日本の「ローカル5Gスマートファクトリー&ロジスティクスラボ」 の開設にあたり「eve auto®」を導入 ～工場・物流施設の屋外搬送においても、工程変更時の現場負担を軽減する 5G対応ソリューションとしての活用を展示～

株式会社 eve autonomy(イブ・オートノミー、静岡県袋井市、代表取締役:星野 亮介、以下「eve autonomy」)は、このたび、東日本電信電話株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長:澁谷 直樹、以下「NTT 東日本」)が、同社のローカル5Gを活用した、次世代の製造・物流工程を実現する「ローカル5Gスマートファクトリー&ロジスティクスラボ」を開設し、その施設へ eve autonomy の提供する屋外対応型の自動搬送ソリューション「eve auto®」が導入されました。



ローカル5Gスマートファクトリー&ロジスティクスラボの外観



施設内観



施設に導入された eve auto®

● 「ローカル5Gスマートファクトリー&ロジスティクスラボ」オープンの狙い

近年、情報化社会への変遷に伴う顧客ニーズの多様化を背景に、多種多様な製品を必要な量だけ生産することが主流となってくるのに伴い、生産工程の頻繁な変更、工場作業員の多能工化などが求められる中で、デジタルアシストツール(AIカメラ・作業支援システム・スマート電動工具等)の活用による品質の平準化や省力化が進んできております。

これらデジタル化においては、工程変更が発生する度に、ネットワーク機器やそれらをつなぐために多量に配線されたケーブルの配線変更や配管新設・撤去といった現場作業が必要となります。さらに物流業においても人手不足が予測される「2024年問題」が迫っており、これらの現場負担軽減といった課題を想定し、広域・低遅延かつ高速なローカル5Gによる工場設備の無線化や、デジタルアシストツ

ルの活用を促進しています。

NTT 東日本は、ローカル 5G の社会実装にむけ、2020 年より取り組みを開始し現在も国内トップクラスの基地局構築の実績を有しておりますが、製造工程等に用いられる機器メーカーと連携し、「ギガらく 5G」との接続検証を進めております。

この度、当社を含む機器メーカー、製造業・物流業のお客さまと連携し、ローカル 5G ソリューションの製造・物流現場への実装と課題解決をさらに促進するために、ショールーム兼開発検証施設である本施設が開設されました。

NTT 東日本ニュースリリース：https://www.ntt-east.co.jp/release/detail/20240124_04.html

● 施設への「eve auto®」の導入

eve autonomy は 2022 年より、工場や物流施設向けに主に屋外にける自動搬送を実現するソリューションサービス「eve auto®」を提供し、現在 30 以上の拠点に約 50 台を導入し運用を行っています。本ソリューションは、ルート上の路面や設備環境に工事不要で導入ができ、ルート変更もソフト上で容易に変更ができることから、NTT 東日本のスマートファクトリー&ロジスティクスにおけるテーマである「工程変更時の現場負担軽減」のツールの一つとして、ローカル 5G に対応した eve auto が導入されています。

屋外環境においては、段差や坂道などの路面環境に加え、雨や日照の天候条件など、屋内より厳しい環境での運用が求められますが、eve auto®は、高い信頼性により全国で活用されている EV カートと、公道における最先端の自動運転技術を活用し、雨天や夜間においても物流施設等の敷地内屋外環境において自動運転レベル 4 での無人搬送運用を実現しているため、24 時間稼働が求められる施設での運用も可能です。

「eve auto®」：<https://info.eveautonomy.com/yckwys5j>



自動運転 EV を活用した屋外対応の自動搬送ソリューションサービス「eve auto®」

NTT 東日本様において、本日より見学および開発検証等の問い合わせ受付を開始しており、eve auto も同施設にて見学が可能です。施設に関するお問合せは以下、NTT 東日本までお問い合わせください。

東日本電信電話株式会社

ビジネス開発本部 無線&IoT ビジネス部 5G/IoT 企画担当

MAIL：local5g-openlab-ml@east.ntt.co.jp

【eve auto 主要スペック】

製品名	eve auto(イブ・オート) FG-01
寸法/重量	全長 2,275×全幅 1,105×全高 1,885(mm)/483kg
最大牽引重量/積載重量	1,500 kg/300kg
駆動方式/バッテリー	DC モーター/リチウムイオンバッテリー (スペア交換可能)
最大走行速度	手動運転時 19km/h、自動運転時 10km/h
最大登坂性能	9.6 度 (17%) 無負荷・手動運転時、 6.8 度 (12%) 積載 300kg・自動運転時
安全機能	レーザーセンサーによる障害物検出と停止、バンパーセンサー、緊急停止スイッチ
自動運転機能	自動運転レベル 4 (自律移動、交差点横断・右左折、障害物検出による一時停止)
主な管理機能	FMS (フリートマネジメントシステム): PC、タブレットで利用可能なクラウドシステム 走行ルート設定、停留所設定、ステータス監視、走行開始・停止制御
設備連携機能	eve auto connect による自動シャッター連携、信号機連携、パトランプ連携 等

eve auto 製品・サービスページ: <https://info.eveautonomy.com/yckwys5j>

導入事例紹介ページ: <https://info.eveautonomy.com/2p8r79tn>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ】

株式会社 eve autonomy

事業開発部 マーケティンググループ

TEL: 0538-37-9304

Mail: mk@eveautonomy.com

Web: <https://info.eveautonomy.com/3bz2zsfid> (HP お問い合わせページ)

【ローカル 5G スマートファクトリー&ロジスティクスラボに関するお問い合わせ】

NTT 東日本 ビジネス開発本部 無線&IoT ビジネス部 5G/IoT 企画担当

Mail: local5g-openlab-ml@east.ntt.co.jp

株式会社 eve autonomy

本社: 静岡県袋井市久能 3001-10

代表取締役社長: 星野 亮介

HP: <https://eveautonomy.com/>

eve autonomy は、「今日から自動化」をスローガンに、工場や物流施設の主に敷地内での屋外搬送業務を、自動運転技術の活用により無人搬送を実現するサービス「eve auto®」を提供するソリューションプロバイダーです。ヤマハ発動機株式会社と株式会社ティアフォーの技術力を結集し、世界最先端の自動運転技術と長年グローバルで培ってきた品質と信頼を基に、社会課題解決に取り組み、世の中の変化に求められるワークスタイルの実現に貢献してまいります。